

令和元年11月生まれ

おめでとう1さい

応募方法

誕生日の3カ月前の1カ月間、電話または市ホームページで受け付けています。

(例) 誕生日が令和2年2月の人、11月に応募してください。

経営企画課広報係

☎(921)2121(内線514)

URL <http://www.city.dazaifu.lg.jp/admin/soshiki/somu/204/379/575/10459.html>



29日 えんどう そうすけ 遠藤 宗介ちゃん



5日 ふじた あおい 藤田 蒼ちゃん



28日 いしだ はると 石田 大翔ちゃん



8日 しよの はるか 庄野 遥香ちゃん



27日 かわぐち よう 川口 蓉ちゃん



1日 みた なおき 御田 尚暉ちゃん



20日 みかさ きよと 三笠 心翔ちゃん



18日 さいくさ ひかり 七種 柊花璃ちゃん



24日 たなか すみか 田中 淑美香ちゃん



16日 いのうえ けいじろう 井上 恵師朗ちゃん



28日 たなか れお 田中 伶央ちゃん



15日 にしむら ゆい な 西村 柚南ちゃん

にこにこ通信

「子どもの叱り方について」

1歳を過ぎ、一人歩きを始めると、目を離すことができなくなります。いろいろなものに興味を持ち、危険なことにつながることもあります。子どもたちの年齢が低いほど聞き分けができませんので、叱っても仕方がないと思いがちですが、生命の危険に関わることや公共の場所でのルールなど、「してはいけないこと」と「守らなければいけないこと」は早くから教えていくことが大切です。



「してはいけないこと」をしたときには、すぐにその場で短い言葉で、伝えましょう。「また、同じことをして」と思うこともあると思いますが、その都度、繰り返し伝えていきましょう。大人の真剣に怒っている顔や声、悲しい顔や声を繰り返し見たり聞いたりすることで、子どもは肌で感じて「してはいけないこと」を学んでいきます。

そのときに、いつでも、誰でも同じ気持ち、同じ目線で叱ることが大切です。大人が一貫性をもって叱らないと、子どもは親の気持ちをしっかり見抜いてしまいます。

また、子どもをのびのびと育てることは大切ですが、我慢する力を育てることも大切です。我慢する力は幼児期に育ちます。いつでも子どもが最優先ではなく、「今、大事な話をしているからちょっと待ってね」という声かけや、大人の財布や携帯電話などを触れているときには「これは大事なもののだから遊んだらだめよ」と繰り返し伝えて、子どもの手の届かない所に置くようにしてください。

ただし、叱るときに体罰は絶対にいけません。小さいころから叩いていると、大人に脅えたり、人を叩いたりするようになっていたり、叩かれることに慣れて大人の言うことを聞かない子どもになってしまう恐れがあります。しつこく叱らず、子どもの目の高さで、短い言葉で叱る方がいいと思います。

また、子どもを理解するためには一緒に時間を共有することも大切です。日々忙しくて、なかなかゆっくり過ごす時間が持てない家庭もあると思いますが、短い時間の中でも、子どもに「大好きよ」「嬉しいな」「ありがとう」などという言葉かけや、ぎゅーっと抱きしめてあげる時間を持ちましょう。



元気づくり課 子育て支援センター ☎(919)6001